

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 9 月 10 日

【評価実施概要】

事業所番号	2170200568		
法人名	(株) アートジャパンナガヤ設計		
事業所名	グループホームうらら関		
所在地	岐阜県関市倉知1726 (電話) 0575-27-0077		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月30日	評価確定日	平成19年9月28日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 14 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 6 人, 非常勤 18 人, 常勤換算	9 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	～	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,400～36,600 円	その他の経費(月額)	25,800～ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 食事代に含む 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 14 日 現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名
要介護3	6 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 86 歳	最低 75 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中農厚生病院 高井クリニック 後藤歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームからは木々や田畑が部屋のどこからも眺められる自然豊かな場所である。施設や病院の設計を多く手がけた設計会社が母体となっており、現在は3つのグループホームが稼働している。3つのホームの会議なども積極的に行なわれている。入居者が協力して作業を行なう場所やゆっくりとくつろげる場所がある等機能のかつ家庭的なところが随所に見られる。入居者は誰もが生き生きと生活している。職員も入居者に対して大変な心配りをしていると強く感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目である運営理念の啓発は運営推進会議等を通じて行なわれている。また、緊急時の応急手当ては誰もが対応出来る様になっていると共に、早急に救急車の要請をする。感染症対策については、職員に周知している状況である。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p>
	<p>職員による自己評価は回覧の形で行なわれていた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議ではまずホームを知ってもらうことから始め、現在では自治会等の参加もある。この会議を通して、少しずつ、どのような取り組みが必要なのかをホームも確認している。ホーム内で手作りのおやつを食べながらの会議等も計画されている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見や要望はホームへの訪問時に伝えられる場合もあり、職員も家族が話しやすいように聞いている。施設長が不在の時にはその様子を後日伝えている。家族からこうして欲しいなどの要求はよく職員に話し、運営に反映している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近くの保育園やボランティアの受け入れ、公民館活動への参加など積極的に行なっている。今後は、地域との連携を重要項目として、災害時の協力体制の整備への取り組みに期待したい。</p>

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	少しでも地域に根付いたケアをという管理者の思いが入った「うららかに笑顔優しくほのぼのと」という理念はそのままケアに活かされている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は採用時にしっかりと確認しミーティング時等でも常に確認が行なわれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には加入していないものの、公民館の催しや保育園での行事参加など地元との交流に努力している。	○	地域とのつながりが今一歩というところである。今後は、地域の一員として、ホーム側から情報や活動を発信するなどの工夫で地域の中のホームにしていく努力に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員による自己評価は回覧の形で行なわれた。		前回改善事項の感染症対策等のマニュアルは文章化し、職員間で共有できる取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は自治会長、民生委員、行政、家族代表などで2~3ヶ月に1回行なっている。今後は、ホーム内で手作りのおやつを食べながらの会議等も計画されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市や県とは空室状況や業務の確認を通して距離も近くなり、市の要請で他ホーム職員も研修も行なわれた。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の請求書にホーム便り添え、入居者本人の自筆の手紙も送っている。職員からもメッセージを書いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱の設置はないが家族の訪問時にこまめに意見を聞いており、家族の安心感を得ている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は2ユニット間でのホーム内を行き来する異動はなく、入居者と職員が顔なじみになれるよう管理者の意思がつかぬかれている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は希望も取り入れ、勤務扱いで受講でき、その内容は報告会で周知されている。	○	職員のストレス解消に配慮することは職員育ての一環とも考えられる。休憩は職員のリフレッシュにもつながり、ひいては事故を防ぐことにもなるので、短時間でもほっとできる時間と空間の配慮に期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	岐阜県グループホーム協議会に加入し、他のホーム職員の研修を積極的に受け入れている。話し合いの場を設け、そこからより良いホームにするための手がかりを見つけだそうと前向きに努力している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人との面接や入居希望の場合は訪問して、事前に見学をしてもらうよう勧めている。また、体験入居は有料であるが、行なわれており、本人や家族が納得の上利用できる対応をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の出来ること、出来ないことを職員が把握したケアが行なわれている。理念に沿った実践がなされ、本人の様子を見ながら共に過ごしあう関係が作られている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人その人の思いや希望を大切にし、絵手紙を書いたり、食事の準備を任せるなど職員も家族のような思いを持ちながら日々のケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の訪問時や訪問の少ない家族には電話で細かく聞き取って、職員間でも会議で課題について図り、介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化時、必要時にはケアマネジャーである担当者が家族に連絡しプランの変更を行なうなど柔軟に対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人と家族の意思に重点を置き病院との連携により、早期退院など多様な対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診は、本人の希望により、従来の医師に受診している。家族が同行できない場合は有償で職員が通院同行をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に家族への説明を行っており、協力医院との連携により終末期に対する体制を整えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いは、入居者には入居時に、また職員に対しても雇用時に説明をしている。面会者の記録は個別方式にされるなど配慮されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室にいる方は少なく、リビングでゆっくりと過ごし、片隅に置かれたソファでくつろぐなど思い思いにその人なりの生活を送っている姿がみられた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は栄養士が栄養バランスも考えて立てており、入居者の誕生日には本人の好みに合わせたり、バリエーションも加えながらおいしく食べられる工夫をしている。また、入居者の気分や体調に配慮し、食事の準備などをしてもらえるよう支援をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は日中浴を1日おきに行い、その人の状況に合わせて柔軟に行なわれている。また、入浴を嫌がる方にはやんわりと促して、入ってもらえる配慮をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者がそれぞれの役割を認識しており、手芸や貼り絵など得意なことをすることで、はりのある暮らしができるよう支援をしている。		家族とのふれあいも入居者にとって大きな楽しみの1つである。ホームの夏祭りや花見等の行事を、家族が訪問するよい機会となるよう働きかけに期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候を見ながら散歩したり、買い物に行くなど、職員の勤務状態もあるが、出来るだけ柔軟に対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームは交通量の多い場所にあり、川も近いことから施錠しているが、外出と散歩を心がけ閉塞感のないよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急一覧表には家族の連絡先も一目瞭然で記載されており、電話の近くには緊急の際の方法も記載されている。	○	緊急時、災害時は地域の応援体制が必要不可欠と思われるので、運営推進会議で検討したり、消防署の協力を得て、入居者の安全を守る対応が迅速に出来るよう避難訓練の実践に期待したい。また、災害に備えた備蓄品の整備も望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の残量や水分量は個別表に細かくチェックし、入居者の体調が一目瞭然に解るよう配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には温湿度計があり、また、冬場は加湿が出来るように加湿器も備えられている。居室には24時間対応の空気清浄機が設置され、入居者が少しでも快適に過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みに制限はなく、それぞれが使い慣れた家具やベッドを持ち込んでいる。南北に長いホームであるが採光によって家具の位置を変えるなど配慮している。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。